

京都市避難所運営マニュアル改定に向けた

## 第 2 回

避難所運営マニュアル改定検討会

避難所運営マニュアル（素案）について

スフィア基準への対応について具体的に記述

在宅避難者等への支援についての考え方を追記

避難所運営の負担軽減に向けた考え方を追記

スフィア基準への対応について具体的に記述

導入文 「災害関連死ゼロ」を目指して、避難された方々が安心・安全で尊厳ある避難生活を送れるよう、TKB（トイレ・キッチン・ベッド）を確保

14p. 発災当初は受入れ優先。避難所運営が落ち着いた段階で、1人当たり3.5㎡の居住スペースを確保

15p. 段ボールベッド等を活用(要配慮者を優先)

27p. トイレは20人に1基確保し、女性用と男性用を3:1に

34p. 炊き出しや食品の供給を行うNPOや飲食事業者等と連携体制の構築し、温かい食事を提供

### 在宅避難者等への支援についての考え方を追記

3p. 在宅避難者等への支援について

### 避難所運営の負担軽減に向けた考え方を追記

22p. 従来型に加え、中核・サテライト型、学区連携型の提示

23p. 外部支援の積極的な受け入れ

## マニュアル 本編

---

### (素案)



## 目次(構成)

- 1 避難所開設・運営の基本方針
  - 2 避難から避難所の開設・運営撤収までの流れ
    - 水害・土砂災害の場合 ◀ 追加
    - 地震の場合
    - 避難所開設～運営の情報集約の仕組み
  - 3 身の安全の確保・避難
  - 4 避難所（緊急避難場所）開設準備・開設
    - (1) 準備のための開錠
    - (2) 受入準備
    - (3) レイアウトづくり
    - (4) 避難者の受付開始
  - 5 運営体制づくり
    - (1) 運営協議会の設置
    - (2) 代表者会議の開催
    - (3) 各班の役割
  - 6 避難所運営
    - (1) 運営活動のルール ～ 運営に当たって考えておくこと ～
    - (2) 管理
  - 7 安定期以降
- 巻末付録（防災関係機関等連絡先） ◀ 追加

## 1 避難所開設・運営の基本方針

1. 災害時は、一人一人が自分の“いのち”を守ることを基本とします。大切なのは難を避けること。避難所避難だけでなく、在宅避難を含む分散避難を適切に選択し、災害時は迷わず避難することを地域で共有します。
2. 避難所は、地域コミュニティと集まった避難者みんなの協力による、開設・運営を目指します。
3. 避難所は、在宅避難者をはじめ、すべての地域住民にとっての支援拠点と考え、支援に取り組みます。
4. スフィア基準や男女共同参画をはじめとした多様な視点をもとに、様々な人々が運営に携わるすべての人にやさしい避難所づくりを目指します。

## 2 避難から避難所の開設・運営撤収までの流れ

- 学区内の避難所一覧の追加
- 水害・土砂災害時と地震時の合併タイムラインの追加
- 水害・土砂災害の場合追加

## 3 身の安全の確保・避難

- 水害・土砂災害の場合の文章を警戒レベルに応じた内容に改定

## 4 避難所(緊急避難場所)開設準備・開設

避難所（緊急避難場所）開設の流れ

- 水害・土砂災害の場合の文章を警戒レベルに応じた内容に改定
- (1) 準備のための開錠
  - (2) 受入準備
    - 安全点検チェックリストを資料編から移動
  - (3) レイアウトづくり
    - 男女のトイレ・更衣室のレイアウトの考え方を変更
    - 屋外を含む配置図をこの項目に集約、体育館以外で個室を確保した方が良いスペースの配置等を例示
    - 【別冊】感染症対策編を統合し、ノロウィルス対策について追記
  - (4) 避難者の受付開始

## 5 運営体制づくり

### (1) 避難所運営協議会の設置

- 負担軽減策、外部支援活用策、男女共同参画の視点等について、資料編から移動もしくは追記
- 体制図に被災者援護協力団体、飼い主の会追記

### (2) 代表者会議の開催

- 中核・サテライト型等複数の避難所を運営する場合の考え方について追記

### (3) 各班の役割

#### ①代表者・副代表者の役割

- 災害関連死に関する文言追記

#### ②総務班の役割

- 避難所運営協議会の体制づくりを追記
- ハラスメント対策と飼い主の会との連携を追記

## 5 運営体制づくり

### ③情報広報班の役割

- 区・支所対策本部への連絡事項を追記
- 情報収集手段について追記
- ICTの活用について追記

### ④管理班の役割

- 避難所のルール管理について追記
- 車中泊の注意喚起について追記
- スフィア基準に基づくトイレの基数について追記
- トイレの工夫と利用注意事項について資料編から移動

### ⑤保健衛生班の役割

- スフィア基準に基づく入浴機会の確保について追記
- 季節による衛生管理について資料編から移動

### ⑥救護・要配慮者班の役割

- 福祉スペース・福祉避難所について移動

## 5 運営体制づくり

### ⑦食料班の役割

- スフィア基準に基づく、食事の質の確保およびキッチンカー等の派遣について追記

### ⑧物資班の役割

- 避難所へ来ることが難しい在宅避難者等への地域コミュニティ等と連携した情報提供・配給等について追記

## 6 避難所運営

### (1) 運営活動のルール ～ 運営に当たって考えておくこと ～

- ①視覚障害がある方へのサポートについて追記
- ③適度な運動、エコノミークラス症候群対策、災害関連死の予防について追記
- ⑤ペットは「同行避難」を原則と追記
- ⑩要配慮者への対応追記
  - 子どもの居場所づくりのポイントを資料編から移動し、外部団体との連携について追記

### (2) 管理

- 避難所生活のルールの例示は資料編に移動
- 相談体制の確立、こころのケアについて資料編から移動
- ※ 「福祉避難所・福祉スペース」は、「(3) 各班の役割」へ移動



## 7 安定期以降

- 避難所の本来機能の早期回復について追記

## 巻末付録

- 防災関係機関等連絡先について資料編から移動し、集約

# マニュアル 資料編

---

## (素案)

## Q & A

原則、本編に移動、一部は参考資料集に移動する等して、分かりやすく工夫をした。

## 1 参考資料集

以下の資料を追加するとともに、以前の資料についても内容を見直し、アップグレードした。

- p 8 ⑥ トイレ用マンホール蓋の開け方
- p 12 ⑧ 指定避難所等の運営における責任
- p 38 ⑮ 避難所でのペットの受付と管理について
- p 44 ⑱ 性的マイノリティ対応

## 地域展開について (マニュアル概要版)

平成24年10月策定（令和●年●月改定）

# 〇〇学区 2025.12.24（来家） 避難所運営マニュアル

〇〇学区避難所運営協議会

## 水害・土砂災害時

〇〇小学校  
(指定緊急避難場所)

## 地震時

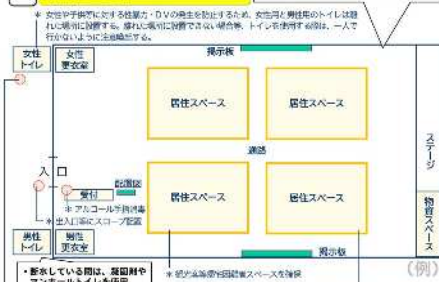
〇〇小学校、〇〇中学校  
(指定避難所)

## 1. 避難所開設・運営の基本方針

- 1 災害時は、一人ひとりが自分の“いのち”を守ることを基本とします。大切な健康を害するのを避ける。避難所避難だけでなく、在宅避難を含む分散避難を適切に選択し、災害時は迷わず避難することを地域で共有します。
- 2 避難所は、地域コミュニティと集まった避難者みんなの協力による、開設・運営を目指します。
- 3 避難所は、在宅避難者をはじめ、すべての地域住民にとっての支援拠点と考え、支援に取り組みます。
- 4 スフィア基準や男女共同参画をはじめとした多様な視点をもとに、様々な人々が運営に携わるすべての人にやさしい避難所づくりを目指します。

### 3 レイアウトづくり | あらかじめきちんとレイアウトすることが混乱をなくします

- |  |  |
|--|--|
| <p>発災当初は避難者の安全確保のために受入れを優先します。</p>                                       | <p>①まずは、道路の確保<br/>②自衛隊、消防、コミュニティなどに居座り確保を依頼<br/>③避難が可能な場所へ、避難指示・トレに行き<br/>すいすいとの電光石火に確保<br/>④自衛隊の身体保護者・避難指示の必要方<br/>のスペースを優先的に確保<br/>⑤復旧次第で世帯ごとにはプライバシーを確保</p> |
| <p>避難所運営が、落ち着いた段階で、1人当たり<br/>3.5㎡の居住スペースとなるようあらかじめ<br/>決めたレイアウトにします。</p> |  |
| <p>受入時のレイアウト</p>   |  |



- [illegible]



5

人数把握を迅速に行うことが円滑な遊覧所運営につながります！

受けて町単位で避難者の人数を掌握し、避難者名簿の記入を依頼して、避難者等の名簿づくりを進めます。

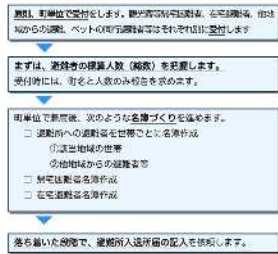


表 1 项目概况表

序号	项目名称	建设地点	建设规模	建设内容
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				

表 2 项目概况表

序号	项目名称	建设地点	建设规模	建设内容
1				
2				
3				
4				
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				
15				
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				

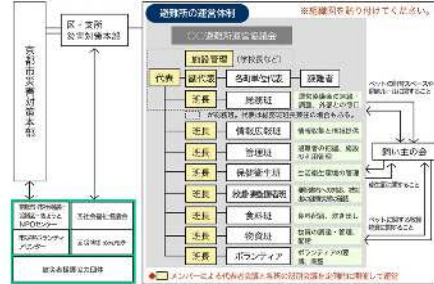
6

### 運営協議会の設置

代表省	
-----	--

代表者	
副代表者	
総務課 部長 → 武蔵野紅の組合もあり 信濃広徳院 部長 管理課 部長 保健衛生課 部長 教訓・聖歌隊両課 部長 食料課 部長 物産課 部長 ボランティア部 部長	

※必要に応じて訂正・追加、削除いたします。  
※代表者1名、副代表者3名程度、各項目の候補をそれぞれ2名以内とします。



① 労働組合連合会の代表者として参加。労働組合が中心となり、地域コミュニティと関わり、政策提言に取り組む。  
② 町民の中で活動者を募集。活動者を組織。  
③ 町民が町民として町民意識を醸成する。町民意識の醸成は町民意識の醸成を目的とする。町民意識の醸成は町民意識の醸成を目的とする。  
④ 町民意識の醸成は町民意識の醸成を目的とする。町民意識の醸成は町民意識の醸成を目的とする。  
⑤ 町民意識の醸成は町民意識の醸成を目的とする。町民意識の醸成は町民意識の醸成を目的とする。  
⑥ 町民意識の醸成は町民意識の醸成を目的とする。町民意識の醸成は町民意識の醸成を目的とする。  
⑦ 町民意識の醸成は町民意識の醸成を目的とする。町民意識の醸成は町民意識の醸成を目的とする。  
⑧ 町民意識の醸成は町民意識の醸成を目的とする。町民意識の醸成は町民意識の醸成を目的とする。  
⑨ 町民意識の醸成は町民意識の醸成を目的とする。町民意識の醸成は町民意識の醸成を目的とする。  
⑩ 町民意識の醸成は町民意識の醸成を目的とする。町民意識の醸成は町民意識の醸成を目的とする。

2

運営に当たっては次の点について考え、必要に応じて、運営方針等を情報掲示板等で関係者にお知らせしましょう。関係者へも理解を求め、実態にトウブルを反映し、適切な運営を進めましょう。

- |    |               |  |
|----|---------------|--|
| 1  | 情報            | 情報は常に「見える化」を!  |
| 2  | トイレの利用と水分補給   | <p>銭湯施設がある方には、周囲の方が飲み上げて共有するなどのサポートをしましょう</p> <p>洋式トイレは高齢者や障害のある人を優先に</p> <p>トイレ利用を制限するような状況になっていないか</p> |
| 3  | 座位確保と適度な運動    | 返った体勢で寝こけるような工夫をしましょう  |
| 4  | プライバシーと見守り    | <p>声かけ等の見守りの工夫をしましょう</p> <p>体験の練習等、共有体験の時間をつくりましょう</p>   |
| 5  | ペットと衛生管理      | ペットは「同行避難」を原則として、人の居住スペースとペットの飼育スペースを区分する等ルールを検討しましょう  |
| 6  | 子どもの居場所       | 子どもの習得づくりを考えましょう   |
| 7  | 外国人への対応       | 避難者の政策、国際サイン、ピクトグラムの活用等により、外国人への情報伝達を工夫しましょう   |
| 8  | 在宅避難者への対応     | 避難所外に居る在宅避難者へ情報提供、炊き出し・救援物資の配給を行います  |
| 9  | 観光客等帰宅困難者への対応 | 観光客等宿泊施設へも情報提供等行いましょう  |
| 10 | 要配慮者への対応      | 要配慮者も意見が出しやすい環境づくりを考えましょう  |

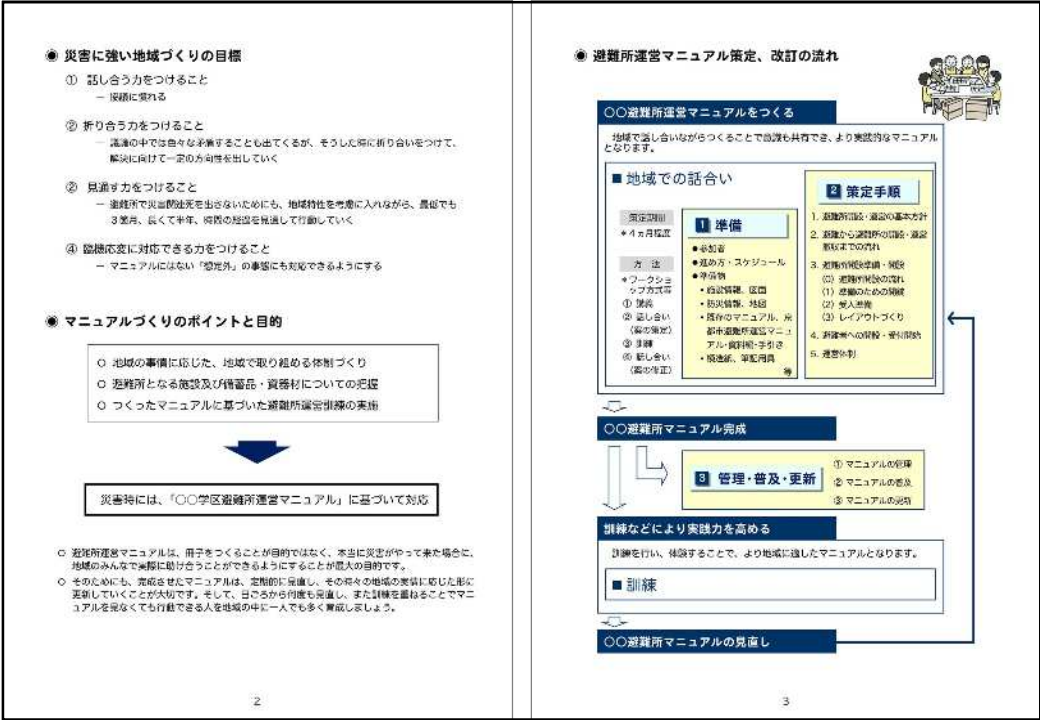
京都市避難所運営マニュアル改定に向けた

## 第2回

避難所運営マニュアル改定検討会

ワークショップ

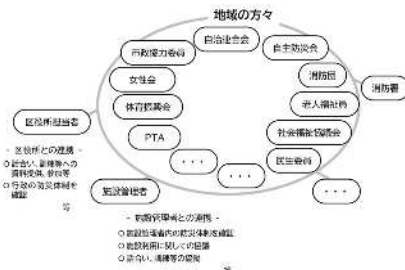
マニュアル手引き  
(素案)



## 1 準備

### ● 参加者

- 近畿府会のメンバーや地域の各種団体の方をはじめ、避難所の開設や運営に避難所の開設、運営に関わる可能性の高い方に集まってもらいます。
- 地域の方々の例、区・支所担当、施設管理者、避難所等の関係により、連携しながら進めます。



### ポイント

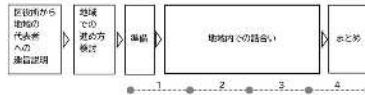
- 関係者が集まって話し合うことは、顔を合わせ、進め方を共有する機会として非常に大切です。いざという時に円滑に動くことができるように、緊急時の役割から関係者が集まって話し合います。
- 避難所には様々な方がいらっしゃいます。等しい人だけでなく、できる限り多くの方に避難所運営の準備を担わせ、協力してもらうことが求められます。話し合いのワークショップの趣向から多くの方に参加してもらうことが求められます。
- 多くの方の参加を得るの難しい場合でも、話し合いで決定した内容を、できるだけ多くの方に周知しておくようにします。

4

### ● 進め方・スケジュール

- 約4ヶ月以内で話し合いのプログラムを進めます。

(スケジュールイメージ)



- 地域の代表者を中心に集まって、ワークショップ形式などで話し合いながら内容を決めていきます。



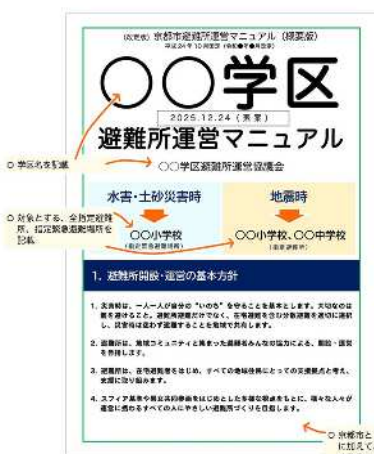
### ● 準備物

- 避難所情報、地図 | 近畿府の避難所、指定避難所、その他、自治会等避難所に活用する可能な避難所の情報や地図。
- 防災情報 | ハザードマップ（水害、土砂災害、地震）や地域の集合電停をプロットした地図。
- マニュアル | 近畿府の〇〇学区避難所運営マニュアル、京都府避難所運営マニュアル、資料集・パンフレット。
- その他 | 校舎前、筆記用具。

5

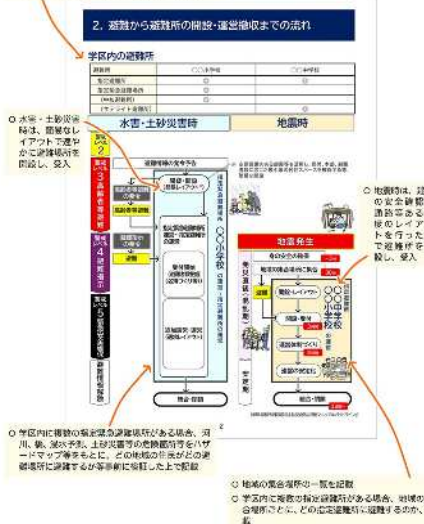
## 2 策定手順

※ 補足事項も参考に、決定するケース



6

- 対象とする、全学区避難所、指定避難所を把握
- 対象となる学区を把握する場合は、事前に学区、セクター、避難所を把握する。その位置づけも把握
- マニュアル本編 22p 参照
- 複数の避難所、避難所がある場合は、以下の手順、レイアウト図を、避難所、避難所ごとに作成



7







[illegible]

## 6. 発表活動のルール

発表は、1人1人が発表するのではなく、グループで発表します。発表する順番は、発表する順番表で決めます。発表する順番表は、発表する順番を決めるために、先生が用意した順番表を参考に決めます。

- ① 発表
  - 発表の順番は先生が決めます。
  - 発表の順番が決まったら、発表の順番表の順番に従って発表します。
- ② トレーニング時の発表
  - 1人1人は発表する順番を決めます。
  - 1人1人は発表する順番に従って発表します。
- ③ 発表の順番と発表の順番
  - 発表の順番は先生が決めます。
- ④ フォーワードと後向き
  - 前向きと後向きは先生が決めます。
- ⑤ 発表の順番と発表の順番
  - 発表の順番は先生が決めます。
- ⑥ フォワードと後向き
  - 前向きと後向きは先生が決めます。
- ⑦ 発表の順番と発表の順番
  - 発表の順番は先生が決めます。
- ⑧ フォワードと後向き
  - 前向きと後向きは先生が決めます。
- ⑨ 発表の順番と発表の順番
  - 発表の順番は先生が決めます。
- ⑩ フォワードと後向き
  - 前向きと後向きは先生が決めます。

## ワークショップでの論点

## 論点① 負担軽減

今回のマニュアル改定は、自主防役員等にとって、避難所運営の負担軽減につながるか？

## 論点② 手引き

手引きを用いて、各避難所でのマニュアル改定は、  
しっかりと進められるか？

### 論点③ 本編・資料編

本編、資料編は、各避難所でのマニュアル改定に向けて、過不足なく、適切な内容となっているか？